

令和4年度
事業計画
収支予算

社会福祉法人 緑会

緑会 理 念

仁 愛	家族の身になって病める人の心を大切にする
信 頼	信頼されるに足る知識と技術を持つよう努力する
貢 献	医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献する

令和4年度テーマ

『利用者に寄り添い、支える存在となる』

基 本 方 針

利用者も家族も、安心して暮らせる為に、求められている思いに寄り添い、私たちが持っている技術やサービスを提供するだけでなく、どんな時（感染症や災害など）でも対応できるよう、日頃から準備し、支援できるよう職員一人一人が意識を持って取り組む。

重 点 目 標

1 「筋力を落とさない」

- ・基本能力を測定し、基本動作訓練や運動によって日常生活を改善する
- ・低栄養の改選と口腔、嚥下機能のリハビリを行う

2 認知症・障がいを持つ方への対応

- ・ユマニチュード（その人らしさ）によるケアの推進
- ・大切に思っていることを相手にわかるように伝える

3 人との関わりを大切にし、サービスを提供する

- ・周りを観察し、安全・安心を提供する
- ・利用者、ご家族、地域との信頼関係を構築する

実 施 施 策

1 「筋力を落とさない」ためのサービスの提供

高齢者が要介護状態になる要因は、認知症や高齢化によるフレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）、サルコペニア（筋力減少症）、転倒などがあげられる。そうならないためには、状態を把握し、改善、予防するために、その人にあったサービスを提供し、安全・安心して生活が維持できるよう専門職として関係者と連携しながら取り組む。

2 認知症・障がいを持つ方への対応

ケアすることでその人のもつ能力を奪うことなく、ケアを受ける人とケアを行う人との穏やかにその人の人間らしさを尊重し、機能の維持、向上することができる事を目的に寄り添うことが大切です。

そのためのコミュニケーションとして、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの要素から、その人の持つ特性に働きかけ、その人自身を尊重し、大切な存在であることが伝わるような「ユマニチュード」によるケアを推進する。

3 接遇マナーのスキル向上

介護職にとっての接遇マナーとは利用者やご家族の方に安心感を与え、信頼を得るためのツールであり、挨拶や言葉遣い、身だしなみはもちろん、相手の状況や気持ちを理解して寄り添う姿勢が重要となる。全職員が自身の接遇マナーを見直し、プロとして常に意識すべきスキルを身につけて利用者やご家族の方とより良い信頼関係が気付けるよう取組む。

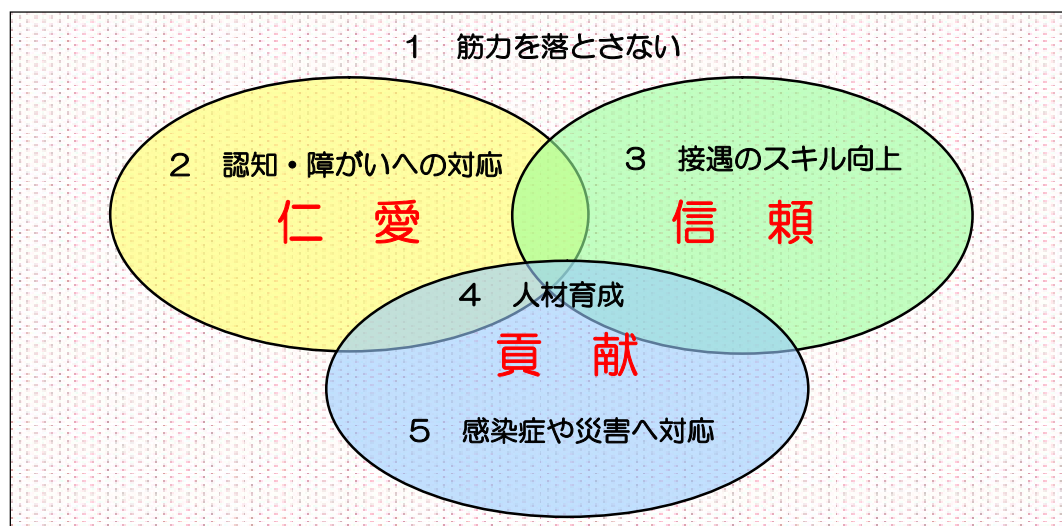
4 人材育成

各部署において職員一人ひとりが目標をもって、役割を果たし、利用者や家族を支える専門職として職員同士が声掛け合い、コミュニケーションを取りながら連携し、お互いが補うことで、安全・安心な場を提供できるよう取組む、

5 感染症や災害への対応力強化

いつ起こるか分からない感染症や災害は、法人だけの問題ではなく、地域社会において大きな影響を与えます。それに対応するためには、日頃からの対策を関係機関と連携しながら、計画的に訓練や研修を行ったり、地域の人たちとつながりを持ったり、顔の見える関係づくりを日頃から構築していく事が大切です。BCP（事業継続計画）に基づき、どんな時でも安全・安心に生活できるよう、私たちの持っている介護や医療などの専門技術を活かして、提供することができるよう対応する。

事業実施図（令和4年度）



1. 令和4年度 修繕・機器入替・新規導入等計画について

1. 千寿苑建物西側外壁木枠取り換え工事

(予算：2,000万円)

令和3年度施工予定とし、計画及び予算に計上していたが、施工管理を依頼していた(株)五井建築設計研究所の事情により、当該年度での委託が不可能となったため、次年度に本格的な工事はせず、最小限度の修繕に止めた。本年度は受託可能との返答あったため、取り換え工事を行う。

未施工のまま放置すると、工事落下事故の発生が予想されるとともに、建物法定点検において改善必要箇所として指摘されることは必須である。

2. 介護保険業務用ソフトウェア利用契約更新及びパソコン一式入替事業

(5年リース：8月契約更新)

緑会及びえんやま健康クリニック共通で使用している介護保険業務用ソフト

「ほのぼの」が5年の使用権が本年8月期間満をに迎えるため、更新契約する必要がある。また、パソコン機器一式についても①経年劣化や故障による使用不能となった機器が複数台あること、②基本ソフト(OS)である Windows のバージョンが「10」から「11」に変更となったこと、③業務の増加に伴い、現有台数では不足していること、から全機入替を行う。

3. 千寿苑にICT機器の導入事業（パラマウント社製 眠りSCAN）

(5年リース：8月以降に契約)

マットレスの下に各種センサーが組み込まれた機器を敷いて、人の体動を捉えることで、睡眠状態に加え、起きあがりや離床・在床が把握できるものである。これまでは、職員による巡回で利用者の睡眠状態を確認するしかなかったが、不意な離床が感知されることで職員が素早く対応することが可能となる。また、メーカーが行っている本機器のデータを提供しすることにより、全国レベルでの眠りに関するビックデータを活用することができ、個々の利用者の状態を細かく分析・改善することが可能となる。これに加え、前項の介護保険業務用ソフト「ほのぼの」と連動させることが可能で、自動的に記録することもできるようになる。

これらから、特に夜勤帯で勤務する職員の負担軽減につながるものとする。

2. 各種会議・委員会一覧

【 えんやまグループ 】

名 称	開催日時	内 容
法 人 会 議	毎週木曜日 8:00～9:00	グループ内で経営や運営上検討すべき課題の検討や制度改正、雇用状況等の共通理解を深める
グループ運営会議	毎月最終火曜日 13:30～15:00	理事長以下グループ内各部署長・課長級の職員が参加し、事業運営や課題について検討する。
施設連携会議	毎月第4木曜日 16:00～17:00	病院・老健・特養・G.H等ベッドを有するグループ内施設の担当者による情報共有と処遇の検討

【 緑 会 】

名 称	開催日時	内 容
緑会運営会議	毎月最終月曜日 12:45～13:45	法人全体の経営・運営に関すること
衛生委員会	毎月最終月曜日 12:30～12:45	職員の衛生・安全・健康の確保・職場環境に関すること
千寿苑業務会議	第1・3週月曜日 12:30～13:00	施設全般の運営・管理等に関すること施設全般における業務全般・苦情に関すること
入居検討委員会	毎月最終金曜日 14:00～15:00	施設入所決定等に関すること
安全・感染対策委員会	毎月第2火曜日 12:30～13:00	リスクマネジメントの手法を用い、事故（転倒・誤嚥・誤薬・異食・その他の事故）の防止対策と事故が発生した場合、その分析や対応、再発防止のための対策を検討、実施することや、感染症及び食中毒の予防並びに蔓延の防止対策や環境衛生等の改善についての検討、実施
合同栄養委員会	毎月第2金曜日 12:30～13:00	施設で提供する食生活全般に関すること
地域活動委員会	偶数月第4金曜日 12:30～13:00	各施設単位、法人単位、そしてえんやまグループ全体の地域活動を担当し、企画の立案や提案、地域からの依頼等の調整を行う
防災委員会	偶数月第3水曜日 12:30～13:00	建物全体の防災計画、月例点検、避難訓練の計画と実施、災害時の対策に関
褥瘡対策委員会	奇数月第3木曜日 12:30～13:00	施設全般における褥瘡予防・対応に関すること
身体拘束廃止委員会	奇数月第3金曜日 12:30～13:00	施設内における身体拘束の廃止及び虐待防止のための取り組みの検討、実施に関すること

令和4年度 社会福祉法人緑会 各委員会 研修・活動計画

	安全対策委員会	合同栄養委員会	感染等災害対策委員会	高齢者虐待防止・ 身体拘束廃止委員会	地域貢献活動委員会	褥瘡対策委員会
4月	毎月各部署でのヒヤリハットや事故の対応について協議している ので、特に研修等を行わない	食形態				
5月		食中毒予防				
6月						
7月		水分補給	避難訓練		千寿苑周辺清掃	
8月		低栄養				
9月				勉強会	一本松公園草刈り	
10月		減塩の必要性				勉強会
11月		糖尿病と食事	避難訓練		朝日小通学路清掃	
12月						
1月			B C P 訓練			
2月		採血データ				勉強会
3月				勉強会		
その他		毎月行事食実施			ウエス・古切手寄付	

3. 各事業所別事業計画・行事等予定・研修予定

介護老人福祉施設 千寿苑

介 護 老 人 福 祉 施 設

短 期 入 所 生 活 介 護

介 護 予 防 短 期 入 所 生 活 介 護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I.利用者の筋力低下を予防する。	※どの計画においても、各専門職が、役割を持ち、連携協働して行う 1 腕上げや足上げ等の練習を行い筋力の低下を予防する ・実施内容：座位のとれる方 →腕上げ、足上げ、立位練習 ：寝たきり状態の方 →腕上げ (挙上の高さを決めておく) 2 口腔体操を行い嚥下機能の維持に努める	(1)R3.3月に利用者全員の立位保持・上下肢挙上保持の時間及び握力を測定する (2)筋力維持向上の効果について研修し、練習の意義を学ぶ (3)測定結果をもとに、対象者を決めて、毎日実施して記録する (4)腕足上げ等の体操内容を決めて、レク時に必ず行う (5)9月と3月に、(1)と同じ測定を行い、測定結果を集計・グラフ化する (6)各個人の集計したグラフを各居室に掲示して、利用者の今後の練習の意欲に繋げる (1)利用者に言葉を発してもらえるように、意識して会話する (2)毎日口腔体操を行う。昼食前だけでなく、毎日継続できるように工夫する (3)いーとみるカードを使用して多職種で嚥下機能について評価する(カンファレンス時) (4)嚥下状態を把握し、介助時の留意点に繋げる ※管理栄養士と食事内容や状態等を共有し、連携する。嗜好調査も行う	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
Ⅱ.利用者に心地よい生活を送ってもらえるように、対応力の向上に努める	1 コミュニケーションを図る際は、ユマニチュードを意識して関わる ・ユマニチュードに関する研修会 ・現場におけるコミュニケーションの基本とコツを練習する (3つの基本:傾聴・共感・受容)	(1)毎朝礼時及びミーティング時に唱和し、利用者に接する際に意識する (2)研修後の内容について、意識して取り組めたかの自己評価と他者評価を9月と3月に実施する（他者評価は無記名で行う） (3)日々の関わりの中で、困った事例等について職員間で話し合う。話し合った内容については、記録に残し、改善できるように申し送りや回覧等で周知を図る	
Ⅲ.専門職としての意識を持ち、利用者に安心安全な生活を提供する	1 進んで挨拶を行うなど、好感を持ってもらえるような接遇マナーに留意していく ・身だしなみの点検 ・ご家族や外部の方に接する際に、各自留意している事についての意見交換を行う (対面での場面や電話対応時など) ・満足度調査及びアンケートの実施 2 事故防止予防や感染症の研修会を行い、知識の幅を広げ安全安心に繋げる ・事故予防についての研修会 ・感染症についての研修会	(1)身だしなみの基準に沿って、9月と3月に他者が点検し、改善が必要な場合は説明する (2)意見交換後、留意事項について意識を高め、その時々々の場面に応じた対応を心掛ける (3)満足度調査の後、集計結果と意見を洗い出し、周知する。また、検討が必要な内容やコロナ禍で見直しすべき内容についても、職員間で話し合い、共有していく (1)安全対策委員会による R3年度のアクシデントレポートの集計をもとに研修会を行い、予防に繋げる(R4 年度末に集計結果を比較) (2)主な感染症や流行状況に応じた内容などについて研修会を行い、感染発生に備える (3)感染時の必要物品の見直しと、発生時すぐ使用できるように周知する	

令和4年度年間行事等事業計画書

部署名： 入所

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見		
5月	国分寺公園散策 （里山里海ミュージアム）		
6月	・和倉お祭り会館へ （ゆったりパークで家族と面会）		
7月	夏祭り（駄菓子屋・茶店）		
8月	海ドライブ		
9月	敬老会		
10月	千寿苑食堂 （サンマを焼く等）		
11月	紅葉ドライブ		
12月	バー寿		
1月	苑内初詣（外出）		
2月	バレンタイン （チョコレートタワー）		
3月	焼き芋（紙しばい）		

令和4年度 施設内研修予定表

部署 _____ 入所 _____

開催日	研修内容	場所	参加職員
4月	・筋力アップの効果及び効果的な食べ物 ・い〜とみるカードの使い方	2. 3階デイルーム	入所職員
5月	ユマニチュードと認知症の方への対応	〃	〃
6月	事故予防について	〃	〃
7月	看取り、精神的ケアについて	〃	〃
8月	コミュニケーションの基本	〃	〃
9月	ご家族や外部の方への対応時の留意点	〃	〃
10月	感染症（インフルエンザ、ノロウイルスなど）	〃	〃
11月	感染症発生時の対応についての練習	〃	〃
12月	誤嚥〜心肺蘇生	〃	〃
1月	身体拘束及び虐待について	〃	〃
2月	職員の倫理、プライバシー	〃	〃
3月	高齢者の病気（褥瘡、心疾患など）	〃	〃

※①感染症と身体拘束（虐待）について：2回/年（委員会と連動）

※②口腔衛生管理体制

⇒

※①②について年度内に実施

令和4年度 施設外研修参加予定表

部署 入所

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
	介護職員等による喀痰吸引等実施のための研修	石川県	未定	介護職：織平あゆみ
	介護支援専門員更新研修	〃	未定	介護職：龍 生美
	感染症について	〃	未定	感染委員
	身体拘束廃止について	〃	未定	身体拘束廃止委員
	高齢者虐待防止について	〃	未定	〃
	認知症介護実践者研修	〃	未定	介護職：村尾静香
	認知症介護実践リーダー研修	〃	未定	介護職：野口麻美
	スーパービジョン研修		未定	ケアマネ：達 一樹
R5.2月	権利擁護		未定	〃
	食事の不良姿勢に有効なポジショニング	高齢者施設看護師会	未定	機能訓練：松田陽司

デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

通 所 介 護

七尾市介護予防・日常生活総合事業

令和4年度テーマ：『利用者に寄り添い、支える存在となる』

部署：デイサービスセンターせんじゅ・なでしこ

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1 筋力を落とさない	1 その人にあったサービスの提供 1①その方に応じた訓練の実施 ・ベット上⇒四肢挙上・起き上がり・立位訓練 ・離床可能者⇒座位・立位訓練・足上げ運動 ・歩行可能者⇒時間をかけてゆっくり座る ②食事摂取量の確認・採血データの確認 ③利用者様のADL・筋力チェック⇒改善するためのアセスメント作成⇒目標を設定し、結果について 評価・考察	1①一人一人に合わせた訓練計画を作成し、実行する ②食事摂取量の確認・定期的な採血データの確認を行い、必要に応じて他職種で対応 ③利用者様のADL・筋力チェック⇒改善するためのアセスメント作成⇒目標を設定し、結果について 評価・考察⇒次回の計画書に反映	
2 認知症・障害を持つ方への対応	2 ユマニチュードによるケアの推進 見る⇒笑顔で水平に目を合わせる 話す⇒ゆっくりとポジティブな言葉で優しく話す 触れる⇒ゆっくりと手のひら全体で背中などに優しく触れる 立つ⇒歯磨き・更衣などの機会に、40秒立位保持の時間を増やす	2 左記の4項目について、3ヶ月ごとに自己評価を行う	

令和4年度テーマ：『利用者に寄り添い、支える存在となる』

部署：データセンターせんじゅ・なでしこ

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
3 人との関わりを大切にし、サービスを提供する	3 感染症や災害への対応力強化 接遇マナーのスキル向上 人材育成 BCP訓練や研修を行い、感染症や災害対応力を強化する	3 接遇マナーについて、自己チェック表で3ヶ月毎にチェックし、他者評価を受ける 接遇マナーの勉強会に参加する 職員同士が声をかけ合い、コミュニケーションをとりながら連携し、お互いが補う(ミーティングで全員で方法を話し合う) 新型コロナウイルス感染予防のための訓練や研修を行う 地震災害対応のためのマニュアルを作成する	

令和4年度年間行事等事業計画書

部署名： せんじゅ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯		
5月	新緑ドライブ 母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯		
6月	初夏ドライブ あじさい湯		
7月	せんじゅ納涼祭 笹の葉湯		
8月	せんじゅ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 敬老マッサージ りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	運動会 紅葉ドライブ オリーブ湯		
11月	文化祭 さざんか湯		
12月	忘年会 柚子湯		
1月	初詣 松湯		
2月	節分のつどい 梅湯		
3月	ひな祭りのつどい 早春ドライブ 菜の花湯		

令和4年度年間行事等事業計画書

部署名: なでしこ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯		
5月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯	介護予防グループ「元気かいね」白馬様との交流会	
6月	あさひ保育園児との交流会 あじさい湯	あさひ保育園児との交流会	
7月	初夏のドライブ 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8月	なでしこ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 敬老マッサージ りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	運動会 あさひ保育園児との交流会 オリーブ湯	徳田祭り あさひ保育園児との交流会	
11月	紅葉ドライブ さざんか湯		
12月	忘年会 柚子湯		
1月	初詣 松湯		
2月	節分の集い 梅湯		
3月	ひな祭りの集い 菜の花湯		

令和4年度 施設内研修予定表

部署 通所介護（デイサービス）

開催日	研修内容	場所	参加職員
6 月	ユマニチュードについて(動画)	デイルーム	全職員
8 月	認知症について(DVD)	デイルーム	新人職員
10 月	職業倫理とプライバシー保護について	デイルーム	全職員
12 月	感染予防について(感染対策委員)	デイルーム	全職員
2 月	身体拘束について(身体拘束委員)	デイルーム	新人職員

令和4年度 施設外研修参加予定表

部署 通所介護（デイサービス）

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	福祉サービスに関する苦情解決研修	石川県社会福祉協議会	金沢市内	高山
9月	福祉サービス総合研修		福祉総合研修センター	素波
8/6	ストレスマネジメント研修		県社会福祉会館	戸間
未定	県デイサービスセンター協議会職員研修		未定	坂井
7/27.28 8/26.27	リスクマネジメント		福祉総合研修センター	宮本
12月	コミュニケーション技法実践研修		未定	大嶽

介護老人福祉施設 千寿苑
デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

栄 養 課

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. 筋力を落とさない。	1. 体重減少を予防する。 → 栄養アセスメントにより、食事・栄養に関する問題を把握、多職種で共有し、 栄養ケア・マネジメントを実施する。 2. 摂食機能を維持する。 → 口腔環境を確認しながら食事観察、摂食機能を評価し、適切な食形態で提供する。	(1) 体重、BMI、摂取量、採血データ、食環境、身体状況などを確認する。 (2) 必要に応じて上腕三頭筋部皮下脂肪厚、上腕筋囲長を測定。 (3) 適切な栄養量・食形態にて食事提供し、摂取量を確保する。 (4) ラウンドや食事介助の際、姿勢、咀嚼嚥下状態（「い〜とみる」の活用）などを観察し、多職種と情報共有、必要な対応を速やかにおこなう。	
II. 認知症・障がいを持つ方への対応。	1. 日々の食事に嗜好調査結果や、ご意向をできるだけ反映し、満足度を向上させる。 2. 摂取状況や食事内容の情報共有。 → 多職種およびグループ内管理栄養士との連携。	(1) 年2回嗜好調査を実施し、栄養委員会で報告、クリニック管理栄養士や多職種と情報共有し、献立や食事内容を調整する。 (2) 摂取状況等を確認し、できるだけご意向に添えるよう対応する。 (3) イベント食やクッキングの立案・実施。 (4) 長寿祝い膳の提供。	
III. 人とかかわりを大切にし、サービスを提供する。	1. 人として、専門職として誠実に対応する。	(1) 研修会（オンライン等）への参加。 (2) ご本人、ご家族に食事内容や状況を説明する。 (3) 多職種とのコミュニケーションがとりやすい環境作りに努める。	

令和4年度

施設外研修参加予定表

部署

管理栄養士

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	生涯学習研修会	石川県栄養士会	未定	管理栄養士
未定	支部会研修	石川県栄養士会	未定	管理栄養士
未定	石川県糖尿病療養指導士研修会	石川県糖尿病 療養指導士研究会 他	未定	管理栄養士
未定	摂食嚥下に関する研修会	石川県栄養士会 他	未定	管理栄養士

グループホーム やくしの里

認知症対応型共同生活介護

介護予防指定認知症対応型共同生活介護

令和4年度テーマ：『利用者に寄り添い、支える存在となる』

部署：やくしの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
1 状態に合わせ体を動かし筋力を維持する	1 筋力低下予防に努める (1) 毎日の昼食前の口腔体操にて嚥下機能の維持。3日に一度のゴムバンド体操 (2) 下肢筋力低下予防 足上げ歩行・スクワット運動 (3) 天気の良い日の坂道昇降散歩 (4) 年間を通しての畑仕事 (5) 歩行速度・握力測定	(1) マニュアル作成し職員へ周知徹底を図る (2) (3) 転倒リスクのある利用者を対象とし毎日行えるようにチェック表を作成する。 (4) 畑の年間スケジュール表作成 (5) 4月に基本能力測定行い、年4回の測定とミーティング時に評価	
2 認知症・障害を持つ人を理解しその人自身を尊重する	2 ユマニチュードの推進ケア (1) 認知症・障害を持つ人でくらず、一人の人として尊重に配慮したケアを行う (2) 1日1回は利用者と席につきコミュニケーションをとる (3) 日常生活を通して職員と共に行動する時間を持つ	(1) ミーティング時に利用者一人一人の意見交換を行う (2) コミュニケーションを取る時間を持つ様に心掛ける (3) 職員と共にシーツ交換、自室の掃除、ごみ出しを行う	

令和4年度テーマ：『利用者に寄り添い、支える存在となる』

部署：やくしの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
3 利用者とその家族への信頼関係を深め 接遇マナーの向上に 努める	1 接遇マナーを見直しスキルアップを行う (1)接遇マナーの自己評価・他者評価 (2)言葉づかいについて振り返りを行う (3)接遇マナー勉強会	(1)接遇マナー用紙にて自己評価・他者評価（5・9・1 月実施、他者評価は職員同士） (2)言葉づかいについて振り返りミーティング時に話し 合いの場を持つ (3)2月に自己評価・他者評価の振り返りを交えた勉 強会を行う。	
4 人材育成に取り組 む	(1)苑内外研修の参加とYouTubeを活用した勉強会 の参加 (2)職員間で情報を共有し気づく存在となる。	(1)苑外研修参加後にミーティング時に発表話し合い を行う。 (2)報連相の強化、申し送りの徹底	
5 感染症や災害への 対応強化	(1)コロナウイルス感染予防の継続 ・入居者：毎日の体温と酸素濃度測定 ・職員：出勤時、体温、酸素濃度測定、うがい、マスク の着用、職員玄関前での手指消毒の徹底 ・苑内感染した場合の対策 (2)災害に備える事で介護サービスを継続する	・入居者：毎朝測定の実施 ・職員：出勤時に実施、職員間で声掛け行う ・マニュアル作成と4・7月に勉強会行う。 (1)断水時(7月予定) (2)停電時(2月予定) (3)物品・備蓄品の確認(年2回)	

令和4年度年間行事等事業計画書

部署名： やくしの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学・その他
4月	花見	大泊朝市	
5月	でか山見学・ドライブ 避難訓練	大泊朝市	
6月	ドライブ 菖蒲湯 ワックス掛け	大泊朝市	
7月	七夕まつり 災害訓練(断水)	大泊朝市	
8月	花火 流しそうめん	大泊朝市	
9月	お彼岸おはぎ作り	大泊朝市	
10月	避難訓練	大泊朝市	
11月	紅葉ドライブ	大泊朝市	
12月	クリスマス会 ゆず湯 おせち作り・年越しそば	大泊朝市	
1月	おせち提供 正月遊び 七草粥	大泊朝市	
2月	節分	大泊朝市	
3月	ひな祭り お彼岸おはぎ作り ワックス掛け	大泊朝市	

令和4年度

施設内研修予定表

部署 やくしの里

開催日	研修内容	場所	参加職員
5・8・11・2月	身体拘束	やくしの里リビング	職員全員
4・7月	感染対策について	やくしの里リビング	職員全員
9月	記録の書き方について	やくしの里リビング	職員全員
10月	認知症	やくしの里リビング	職員全員
2月	接遇	やくしの里リビング	職員全員

令和3年度

施設外研修参加予定表

部署 やくしの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
7月	介護現場における感染症の予防と対策	公益財団法人 介護労働安定センター	Web セミナー	橋本光治
9月	介護記録 ～介護記録の基本・実践編～	公益財団法人 介護労働安定センター	金沢市	石垣初江
10月	認知症ケア	公益財団法人 介護労働安定センター	金沢市	竹本夏代
10月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止セミナー	公益財団法人 介護労働安定センター	Web セミナー	福井早苗

小規模多機能型居宅介護施設たかしなの里

小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護

介護予防小規模多機能型居宅介護

令和4年度テーマ：『利用者に寄り添い、支える存在となる』

部署：たかしなの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
筋力を落とさない フレイル(身体的・精神的・社会的衰弱)を予防する。(見える化)	・筋力チェックとリハビリの実践と見える化。 ・低栄養状態の確認と改善。 ・嚥下機能のリハビリの強化 ・口腔内の状態の確認	・年3回(7月、11月、3月)に握力・歩行速度・嚥下能力を確認、データー化する。年2回(4月、10月)BMIと採血データーの確認を行う。 ・低栄養の方には、栄養課と連携し、栄養食品を提供するなど生活や食事の管理をして改善に努める ・百歳体操、歩行訓練、そのほかリズム体操や嚥下体操を毎日実施する。 ・食後の口腔ケアの徹底を行い、担当制の担当職員が、状態の変化を月に一度スタッフに報告する ・四季のドライブ、施設等の見学、施設内でのレクリエーションの実施、また地域行事があれば見学や参加をする	
認知症・障がいを持つ方への対応	・ユマニチュード(その人らしさ)によるケアの推進 ・大切に思っていることを相手にわかるように伝える ・ご利用者の体の状態や変化、好みを細かく把握する ・ご利用者1人ひとりが自分らしく生活できるよう支援する ・周りを観察し、安全安心を提供する ・スキル向上に努め信頼される施設づくりをする	・経過記録に「本人の声」を記載する。 ・自己目標表を作成し実行、年2回評価を行う。(担当制の担当職員は9月2月、職員会議で取組みを発表する) ・軒下マップを作成し、利用者一人ひとりが自分らしく生活出来るよう支援する ・医療介護の専門知識の勉強会を実施する	

令和4年度テーマ：『利用者に寄り添い、支える存在となる』

部署：たかしなの里

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
接遇マナーのスキル向上 感染症や災害への対応力を強化する 施設で取り組んでいる内容を家族や地域の方にもっと知って貰い理解して頂く その他	・挨拶や言葉づかいを正し、安心感を与える ・緊急時に慌てることなく的確な対応が出来るよう計画的な訓練や研修を実施する ・広報活動を通じ利用拡大を図る。 ・ご利用者、ご家族、地域との信頼関係を構築する。 ・野菜作りを行う ・施設の周りをきれいにする	・接遇勉強会を年2回実施する。 ・年2回自己評価を行う ・感染症 BCP 作成 ・感染予防具の脱着 ・日々の施設内での行事や出来事を LINE でご家族や地域の方に発信する。また LINE のやり取りで意見や要望、連絡など伝えやすいようにする。 ・9月地域向け広報誌を発行する ・年間を通した野菜作りを行い、利用者に供給する ・施設周辺の清掃や花壇やプランターで景観を良くし、地域の方や利用者に和んでいただく	

令和4年度年間行事等事業計画書

部署名：たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ	カフェたかしな	
5月	青柏祭見学 新緑ドライブ 避難訓練（夜間）	カフェたかしな	朝日小学校運動会見学
6月	露取り 菖蒲湯	高階地区敬老会参加 カフェたかしな	高階地区体育レクリエーション大会見学
7月	七夕まつり シェイクアウト 安浄寺お参り	カフェたかしな	
8月	家族交流会（意見交換会）	カフェたかしな	高階まつり見学
9月	足湯ドライブ おはぎ作り	カフェたかしな	
10月	避難訓練（日中）	池崎町秋の大祭 カフェたかしな	徳田まつり見学
11月	紅葉ドライブ	カフェたかしな	
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき	カフェたかしな	
1月	正月遊び 法話（安浄寺住職）	カフェたかしな	
2月	節分	カフェたかしな	
3月	和倉温泉お祭り会館	カフェたかしな	

令和4年度 施設内研修予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修内容	場所	参加職員
4月	感染予防具の脱着	たかしなの里	全職員
5月	接遇マナー	たかしなの里	全職員
7月	身体拘束虐待防止	たかしなの里	全職員
9月	接遇マナー	たかしなの里	全職員
10月	介護記録の書き方	たかしなの里	臨時職員
11月	感染対策について	たかしなの里	全職員

令和4年度 施設外研修参加予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
7月	介護現場における感染症の予防と対策	介護労働安定センター	WeB セミナー	村山 静
9月	介護記録 ～介護記録の基本・実践編～	介護労働安定センター	金沢市	本田宏代
10月	認知症ケア	介護労働安定センター	金沢市	岡村昭宏
10月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止セミナー	介護労働安定センター	WeB セミナー	岡馬美裕紀

